

事業評価調書

◎基本情報

年度		令和4年	会計コード		10	一般		事業コード		37710
事業名		認定こども園整備補助金								
評価担当課		所属名		子)子育て支援 保育推進課						
		課長名		西山	担当者名		齋藤	電話番号		011-211-2346
施策名	主	多様なニーズに応じた保育サービスや、児童が放課後に過ごす安全								
	副									
アクションプラン		● 対象 ○ 対象外				戦略ビジョン		● 対象 ○ 対象外		
事業の性質		○ 経常経費 ● 臨時的経費								
		○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理								
事業内容	実施形態		○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他							
	目的	短期	認可保育施設等の利用定員数H31. 4. 1:31, 147人⇒R5. 4. 1:38, 050人							
		長期	幼稚園から幼保連携型認定こども園への移行を促進するほか、幼保連携型認定こども園を新築することで保育所機能部分(2号及び3号)定員数を増やし、保育利用定員の拡大を図る。							
	取組内容		【目的】 必要な保育の受け皿の確保や老朽化した施設の更新 【内容】 認定こども園の整備に対する補助 ①幼保連携型認定こども園の保育所機能部分の定員増(6件 259人増) ※幼稚園機能部分の改築に対しても補助 ※うち2件は、令和4年度は旧園舎の解体工事のみの実施であるため、定員増はなし。							
実施結果		令和4年度整備分による定員増349人 【内訳】 ①幼保連携型認定こども園への移行(6件259人) ※うち2件は、令和4年度は旧園舎の解体工事のみの実施であるため、定員増はなし。 ②幼保連携型認定こども園の新築(1件90人)								
事業実施における工夫点		整備事業者の募集にあたっては、本市ホームページ等に掲載し、広く情報発信を行っている。 また、幼保連携型認定こども園への移行を促進するため、既存の幼稚園又は幼稚園型認定こども園が幼保連携型認定こども園へ移行する場合は、幼稚園の改築部分に対しても補助の対象としている。								
対象者		学校法人、社会福祉法人					開始	平成27年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等		児童福祉法、子ども・子育て支援法、認定こども園法、保育所等整備交付金交付要綱、認定こども園施設整備交付金、札幌市児童福祉施設等整備費補助金交付要綱								
他都市の状況		「さっぽろ子ども未来プラン」の需給計画は子ども・子育て支援法の規定により策定する「子ども・子育て支援事業計画」として位置づけられており、全国一律の制度である。								

◎事業費

(単位:千円)

		令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費		2,952,881	1,556,000	1,607,771	1,073,000
うち特定財源		2,801,208	1,183,785	1,250,408	833,949
人工		1.6	2.6	2.6	2.0
人件費		11,520	18,720	18,720	14,200
計(事業費＋人件費)		2,964,401	1,574,720	1,626,491	1,087,200
事業費 の内訳	令和4年度決算	①幼保連携型認定こども園(移行) 6件 1,420,009千円 ※うち2件は解体のみ ②幼保連携型認定こども園(新築) 1件 187,761千円 ③その他 1千円			
	令和5年度予算	①幼保連携型認定こども園(移行) 4件849,977千円 ※うち2件は解体のみ ②幼保連携型認定こども園(新築) 1件187,761千円 ③幼保連携型認定こども園(増築) 1件26,061千円 ④外構整備補助 9,201千円 ※令和5年度から事業統合			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	認可保育施設の利用定員								
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定						
		35,610人	36,469人	35,860人	36,270人						
活動指標2		指標名	認定こども園整備による保育定員の増								
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定						
		753人	259人	349人	170人						
成果指標1		指標名	待機児童数(こども家庭庁への報告数、翌年4/1)								
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標						
		0人	0人	0人	0人						
成果指標2		指標名									
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標						
項目	判定	理由									
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	活動指標2(認定こども園整備による保育定員の増)を達成した。また、成果指標1についても、昨年度に引き続き「待機児童0人」を達成することができた。									
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	国が定める補助要綱等を基に、適切に対象事業者、対象経費及び基準額を設定している。 また、「第4次さっぽろ子ども未来プラン第5章」の「教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業に関する需給計画」における保育需要等を基に必要な経費を計上している。									
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園の整備を効率的に進めるため、既存幼稚園及び既存幼稚園型認定こども園への移行を対象に、整備事業者を募集している。									
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	「事業の成果」にもあるとおり、成果指標1(待機児童0人)を達成した。									
市民参加の実施	☒ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外		市民参加結果への対応	☒ 回答 ☒ 反映							
今後の改善点	全市的な保育の供給量は満たされつつあるが、一部地域では供給不足が生じるため、今後は、より詳細に地域の状況を見極めた上で、必要な保育の受け皿の確保を行う必要がある。また、老朽化した施設も増加しているため、計画的な施設の更新を行う必要がある。										
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし										
今年度取り組んだ見直し内容	前年度に引き続き、新設整備については、地域ごとに詳細な分析を実施した上で、特に必要とされる地域への限定的な整備とした。			見直し効果額 (前年度)	0	千円					
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし										
評価の理由	活動指標2(認定こども園整備による保育定員の増)を達成したため。また、成果指標1についても、昨年度に引き続き「待機児童0人」を達成することができたため。										
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 休止・廃止 認定こども園の整備費用の一部を補助することで、整備を促進し、必要な保育の受け皿の確保を行う。また、老朽化した施設を更新し、安全な教育・保育環境を確保する。									
	予算	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他 認定こども園への移行を促進するため、引き続き認定こども園の整備費用の一部への補助を行う。なお、令和6年度からは「私立保育所整備等補助金」と事業統合予定である。			見直し効果額	0	千円				